

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブル
 - KCA-iP103
 - 本機に iPod/iPhone を USB 接続するケーブルです。(→ P.87)
- USB 接続ケーブル
 - KNA-22USB
 - 本機に USB 機器を接続するケーブルです。(→ P.88)
- HDMI 接続ケーブル
 - KNA-20HC
 - 本機に HDMI 機器を接続するケーブルです。(→ P.117)
- AV プリアウト拡張ケーブル
 - KNA-17AV
 - リアモニターへの映像出力をするケーブルです。ドライブレコーダーを接続する場合はドライブレコーダーの映像入力も接続します。
- ドライブレコーダー
 - ナビ連動型ドライブレコーダー(フロント用) DRV-N530
 - ナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダー DRV-EMN5700
 - ナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー DRV-MN970/DRV-MN940B
- リアビューカメラ
 - ケンウッド専用マルチビューリアカメラ CMOS-C320
 - ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ CMOS-C230W/CMOS-C230
 - スタンダードリアビューカメラ CMOS-230W/CMOS-230
 - ・ ケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル CA-C100 (別売品) が必要です。
- ETC 車載器
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5610 (市販品)
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 (市販品)
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5412 (市販品)

付属の ETC / ステアリングリモコン対応ケーブルで接続してください。
- ETC2.0 車載器
 - ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000
 - ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-ET2000D (市販品)
 - 接続ケーブル: KNA-P12DSRC (別売品)
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-DSR140D (市販品)
 - 接続ケーブル: KNA-P15DSRC (別売品)
 - 株式会社デンソー製 ETC2.0 車載器 DIU-B040 (市販品)
 - 接続ケーブル: KNA-D15DSRC (別売品)
- リアモニター
 - 9V 型 WVGA リアモニター LZ-900
- トヨタ車用 / ダイハツ車用ワイヤリングキット
 - KNA-200WT
 - 対応モデル:
 - MDV-S809L (別売品 KIT8-18T 使用時) / MDV-S709W
- 日産車用ワイヤリングキット
 - KNA-200WN
 - 対応モデル: MDV-S709W

ドライブレコーダー DRV-N530 (別売品)を使う

本機にナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）を接続すると手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。録画の画質の種類や録画時間 / 録画ファイル数など詳細は接続しているドライブレコーダー（別売品）の取扱説明書をご覧ください。ドライブレコーダーの接続設定はありません。



- ドライブレコーダー（別売品）を接続したときは、ETC 車載器（市販品）を接続することはできません。（ETC2.0 車載器を除く）
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ドライブレコーダーが正しく接続されているかは、「接続情報」画面（→ P.144）で確認してください。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【MENU】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

画面の見かたと操作



- ① 録画モードと録画残時間
(イベント記録 / 手動録画のみ表示)
- ② HDR が [ON] のときに表示
- ③ 録画画質
- ④ 音声録音あり / なし
- ⑤ 自動静止画撮影 ON / OFF
- ⑥ 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	本機に表示される画像を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。 (→ P.85)
[地図表示]	地図表示モード (現在地図画面) に切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。タッチし続けると自動静止画連続撮影機能がオンになります。もう一度タッチし続けるとオフになります。
[設定]	ドライブレコーダー設定を表示します。(→ P.180)
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。(→ P.177)
[録画]	手動録画を開始します。手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。

地図表示モードに切り替える

1 [地図表示] をタッチする



地図表示モードに切り替わります。



■ ドライブレコーダーの映像に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分をタッチする



ドライブレコーダーの映像に切り替わります。

録画ファイルを再生する

1 【MENU】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

2 画面をタッチする

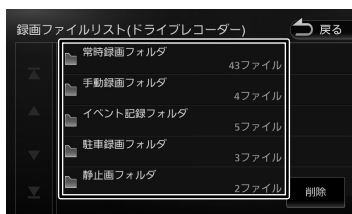


操作ボタンが表示されます。

3 【リスト】をタッチする



4 再生したい録画フォルダを選択する



【削除】

フォルダ内のファイルを削除します。

5 再生したいファイルを選択する



録画ファイルの再生が始まります。


地図表示モードで再生すると、再生中の録画ファイルの位置を地図で表示します。子画面にドライブレコーダーの映像が表示されます。映像表示モードは映像のみを表示してファイルに保護をかけたり、ズーム再生や映像調整などができます。



- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時に本機からの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーのRECボタンによる手動録画もできません。
- 【MENU】または【現在地/AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、音量調整以外の操作はできません。


再生画面の見かたと操作



- ① 再生状態表示
- ② 再生時間^[1]
- ③ HDRが [ON] のときに表示^[1]
- ④ 録画画質
- ⑤ 録画モード
- ⑥ 保護されたファイルのときに  を表示
- ⑦ ファイル名

^[1] 静止画の再生画面では表示されません。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.85)
[ズーム]	再生している映像を拡大表示します。
[地図表示]	録画された場所の地図を表示します。子画面に映像が表示されます。
[保護] / [保護解除]	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に  マークが表示されます。(→ P.178) 常時録画ファイルは保護できないため、常時録画の再生時はこのボタンは表示されません。
[音量] / [音量] ^[2]	再生音量を調整します。
[▶/] ^[2]	再生または一時停止します。
[◀◀] / [▶▶]	再生中のファイルの先頭に戻ります。もう一度タッチすると前のファイルを再生します。/ 次のファイルを再生します。 静止画の再生画面では、[◀◀] をタッチすると、前のファイルに戻ります。[▶▶] をタッチすると、次のファイルを再生します。
[◀◀] / [▶▶] ^[2]	<ul style="list-style-type: none"> • 再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり早戻し / 早送りします。 • 一時停止中にタッチするとコマ送り / コマ戻しします。 • 一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。

ボタン	説明
[削除]	再生しているファイルを削除します。

^[2] 静止画の再生画面では表示されません。

ファイルを保護する

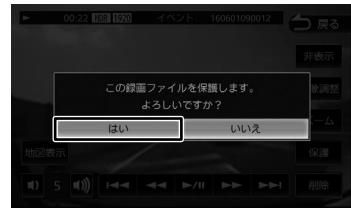
録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。

- 常時録画ファイルは保護できません。

- 1 保護したいファイルを再生して画面をタッチする
- 2 [保護] をタッチする



- 3 [はい] をタッチする




ファイル名の先頭に  マークが表示されます。

■ ファイル保護を解除する

- 1 保護されたファイルを再生して画面をタッチする
- 2 [保護解除] をタッチする



- 3 [はい] をタッチする
ファイル名の先頭の  マークが消えます。

ファイルを削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。



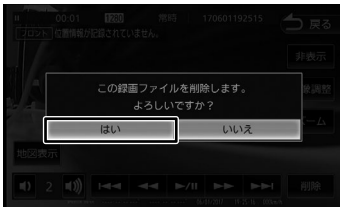
- 保護されたファイルを削除するときは、先に保護を解除してから削除を行ってください。
- 走行中は、ファイルの削除はできません。

■ ファイルを削除する

- 1 削除したいファイルを再生して画面をタッチする
- 2 [削除] をタッチする



- 3 [はい] をタッチする



再生中のファイルが削除されます。

■ フォルダごとに削除する

- 1 [MENU] を押して [ドライブレコーダー] をタッチする
- 2 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

- 3 [リスト] をタッチする



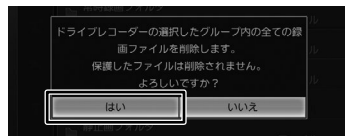
- 4 [削除] をタッチする



- 5 削除したいフォルダを選択する



- 6 [はい] をタッチする



選択したフォルダ内のファイルすべてを削除します。

ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定を行います。

1 **【MENU】** を押して **【ドライブレコーダー】** をタッチする

2 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

3 **【設定】** をタッチする



4 各項目を設定する



- 設定中は、常時録画が停止します。また、イベント記録、手動録画、静止画記録もできません。ドライブレコーダーの REC ボタンによる手動録画もできません。
- ナavigーションの【MENU】または【現在地 /AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、設定操作ができません。

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	1280 × 720/ 1280 × 720(HDR)/ 1920 × 1080/ 1920 × 1080(HDR)*/ 2304 × 1296	録画する解像度を設定します。(HDR)に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。2304×1296にはHDR設定はありません。録画モード別に画質の設定はできません。
記録方式	映像+音声*/ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	ドライブレコーダーから出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。0(消音)/1(小)/2(標準)/3(大)
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	イベント記録を開始する、車両の衝撃検出感度を設定します。1(大きな衝撃で検知します)~3(標準)~5(小さな衝撃で検知します)
常時録画の1ファイル毎の録画時間	1分間/2分間/3分間*	常時録画(連続録画)の録画時間を設定します。録画時間ごとにファイルを区切って録画します。
手動録画の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	手動録画を開始してからの録画時間を設定します。
イベント記録の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	車両の衝撃検知後の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10ファイル/ 30ファイル*/ 50ファイル	自動静止画連続撮影機能で撮影する枚数を設定します。
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1分/5分*/15分/ 30分	自動静止画連続撮影機能で撮影する間隔を設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON*/OFF	駐車時(車両のエンジンキーOFF時)に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかしないかを設定します。
駐車録画の動作感度(ドライブレコーダー)	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。1(大きな衝撃で検知します)~3(標準)~5(小さな衝撃で検知します)
駐車録画開始時間設定(降車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンをオフしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定(乗車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10秒間*/20秒間/ 30秒間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON*/OFF	駐車時(車両のエンジンキーOFF時)に、駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示してお知らせします。[OFF]に設定するとお知らせしません。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

● 運転支援

項目	設定	説明
前方衝突警告	ON/OFF*	自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 30km/h 以上で動作します。
車線逸脱警告	ON/OFF*	走行している車線を検出して、現在の車線からはみだしを報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 60km/h 以上で動作します。
発進遅れ警告	ON/OFF*	自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを報知音と現在地図画面に表示して通知します。自車が後退しているときなどにも通知する場合があります。
運転支援機能の検出範囲設定	運転支援機能を使用する場合は、車両に合わせてドライブレコーダーから見える地平線やボンネットの先端位置を設定します。(→ P.183)	
取付高さ設定	1.2m*/1.35m /2m	運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダーを取り付けた路面からの高さを設定します。(→ P.183)

● リアレコ (ドライブレコーダーリア用)

項目	説明
リアドライブレコーダー接続	本機では使用しません。
駐車録画の動作感度 (リアドライブレコーダー)	
LED 設定	
SD カード寿命表示 (リアドライブレコーダー)	
バージョン情報 (リアドライブレコーダー)	
ファームウェア更新 (リアドライブレコーダー)	
SD カード初期化 (リアドライブレコーダー)	
チャイルドロック	

● システム

項目	設定	説明
SD カード寿命表示 (ドライブレコーダー)	ドライブレコーダー DRV-N530 に付属の SD カードまたは別売のケンウッド製 SD カードを使用していると SD カードの寿命 (目安) を表示します。	
バージョン情報 (ドライブレコーダー)	ドライブレコーダー DRV-N530 のファームウェアのバージョンを表示します。	
ファームウェア更新 (ドライブレコーダー)	ドライブレコーダー DRV-N530 のファームウェアを更新します。(→ P.184)	
SD カード初期化 (ドライブレコーダー)	ドライブレコーダー DRV-N530 のすべてのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。(→ P.184)	
設定の初期化	ドライブレコーダー DRV-N530 の設定を初期化します。	

* : お買い上げ時の設定です。

運転支援機能の設定をする

運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダー取付車両に合わせて、路面からの取付高さ、地平線の位置、ボンネットの先端の位置を設定する必要があります。

運転支援機能についての詳細は、接続しているドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

- 1 見通しの良い、平らで安全な場所に車を停車させてください。
- 2 [MENU] を押して [ドライブレコーダー] をタッチする



- 3 画面をタッチする
操作ボタンが表示されます。
- 4 [設定] をタッチする



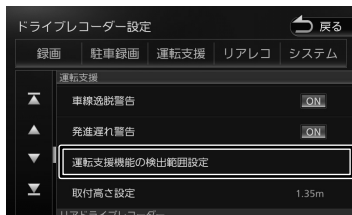
- 5 [運転支援] の [取付高さ設定] をタッチする



- 6 路面から最も近いドライブレコーダーの高さを選択する



- 7 [運転支援機能の検出範囲設定] をタッチする



- 8 ドライブレコーダーの取り付け角度を調整して固定する

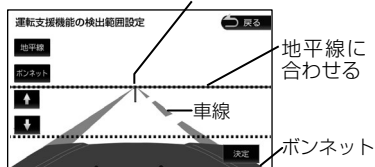
取り付け角度の調整

上下方向は、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率を同じにします。

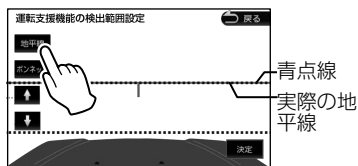
左右方向は、中央の縦線（赤線）を走行車線の中心に合わせます。

調整イメージ図

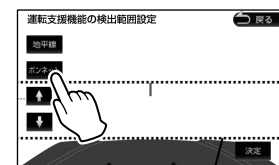
走行車線の中心に合わせる（赤線）



- 9 [地平線] をタッチして、青点線を [↑] / [↓] で実際の地平線に合わせて微調整する



- 10 [ボンネット] をタッチして、白点線を [↑] / [↓] でボンネットの先端に合わせて [決定] をタッチする



ボンネット（白点線）

ボンネットの先端が映像に表示されない場合は、白点線を画面の一番下まで下げてください。

SD カードをフォーマットする

SD カードのフォーマットを定期的に行ってください。
また、SD カードに関するエラーが発生する場合もフォーマットを行ってください。



- ドライブレコーダー以外ではSDカードのフォーマットを行わないでください。
- SDカードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。

1 **【MENU】** を押して **【ドライブレコーダー】** をタッチする

2 画面をタッチする

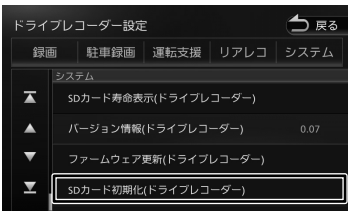


操作ボタンが表示されます。

3 **【設定】** をタッチする



4 **【システム】** の **【SD カード初期化 (ドライブレコーダー)】** をタッチする



5 **【はい】** をタッチする

SD カードを初期化します。

システムを更新する

ドライブレコーダーのシステムファームウェアを更新します。
更新に関する情報は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んでください。



- ドライブレコーダーのバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合、SDカードを挿入しても更新は行われません。

1 SD カードをドライブレコーダーから取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する

2 当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んで、アップデートファイルをSDカードにコピーする

3 SD カードをパソコンから取り出し、ドライブレコーダーに挿入する

4 **【MENU】** を押して **【ドライブレコーダー】** をタッチする



5 画面をタッチする

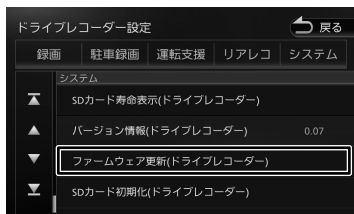


操作ボタンが表示されます。

6 「設定」をタッチする



7 「システム」の「ファームウェア更新 (ドライブレコーダー)」をタッチする



8 「はい」をタッチする

更新を開始します。

2カメラドライブレコーダー(別売品)を使う

本機にナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダー DRV-EMN5700(別売品)またはナビ連動型前後撮影対応2カメラドライブレコーダー DRV-MN970/DRV-MN940B(別売品)を接続すると手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。

録画の画質の種類や録画時間/録画ファイル数など詳細は接続しているドライブレコーダー(別売品)の取扱説明書をご覧ください。



- DRV-EMN5700を接続時は、本機からドライブレコーダーの設定はできません。DRV-EMN5700から設定をしてください。
- ドライブレコーダー(別売品)を接続したときは、ETC車載器(市販品)を接続することはできません。(ETC2.0車載器を除く)
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ドライブレコーダーが正しく接続されているかは、「接続情報」画面(→P.144)で確認してください。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【MENU】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

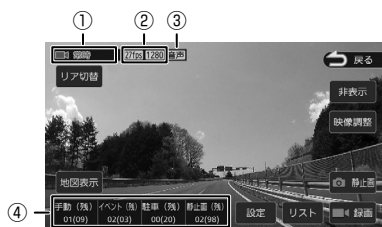
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作



- ① 録画モードと録画残時間(イベント記録/手動録画のみ表示)
- ② フレームレート/録画画質
- ③ 音声録音あり/音声 / なし/音声
- ④ 保存ファイル数(撮影可能ファイル数)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【リア切替】 / 【フロント切替】	ドライブレコーダーDRV-EMN5700/DRV-MN970/DRV-MN940B(別売品)のリアカメラの映像とフロントカメラ映像を切り替えます。
【地図表示】	地図表示モードに切り替えます。
【設定】 ^[1]	ドライブレコーダー設定を表示します。(→P.191)
【リスト】	録画ファイルリストを表示します。(→P.187)
【録画】	手動録画を開始します。手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。 ^[1]
【静止画】	静止画を撮影します。
【映像調整】	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。(→P.85)
【非表示】	操作ボタンを消します。
【戻る】	1つ前の画面に戻ります。

^[1] DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ

地図表示モードに切り替える

地図表示モードに切り替えると、現在の位置を地図で表示し、子画面に現在のドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【地図表示】をタッチする



地図表示モードに切り替わります。



■ ドライブレコーダーの映像に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分をタッチする



ドライブレコーダーの映像に切り替わります。

録画ファイルを再生する

1 【MENU】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

2 画面をタッチする

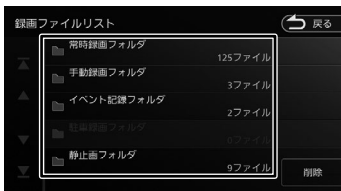


操作ボタンが表示されます。

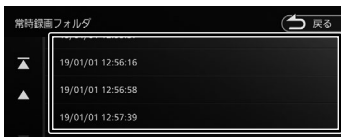
3 【リスト】をタッチする



4 再生したい録画フォルダを選択する



5 再生したいファイルを選択する



フロントカメラの録画ファイルの再生が始まります。

リアカメラの録画ファイルを再生したいときは、手順6を操作してください。リアカメラの録画ファイルをリストから選んで再生することはできません。

6 【リア切替】をタッチする



リアカメラの録画ファイル再生に切り替わります。

【フロント切替】をタッチするとフロントカメラの録画ファイルの再生に戻ります。



- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、地図画面では表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーでの手動録画、静止画記録もできません。
- ナビゲーションの【MENU】または【現在地/AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、録画ファイルの再生映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、リア/フロント切替、音量調整以外の操作はできません。

再生画面の見かたと操作

動画ファイル



- 再生状態表示
- 再生時間
- 録画画質
- 録画モード
- 保護されたファイルのときに を表示
- ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	フロントカメラの録画映像とリアカメラの録画映像を切り替えます。
[地図表示]	地図表示モードで再生します。
[音] / [音]	ドライブレコーダーから出力される再生音量を調整(0～5)します。
[▶/]	再生または一時停止します。
[◀◀] / [▶▶]	再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり、早戻し/早送りします。 一時停止中にタッチするとコマ戻し/コマ送りします。コマ戻しは[◀◀]をタッチしたときのフレームの先頭に戻ります。 一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。
[◀◀] / [▶▶]	再生中のファイルの先頭に戻ります。もう一度タッチすると前のファイルを再生/次のファイルを再生します。
[削除]	再生しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に マークが表示されます。(→ P.190) ・常時録画ファイルは保護できないため、常時録画の再生時はこのボタンは表示されません。

ボタン	説明
[ズーム]	再生している映像を拡大表示します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (→ P.85)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1つ前の画面に戻ります。

静止画ファイル



- ① 再生状態表示
- ② 録画画質
- ③ 録画モード
- ④ 保護されたファイルのときに を表示
- ⑤ ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	フロントカメラまたはリアカメラの静止画に切り替わります。
[地図表示]	地図表示モードで表示します。
[◀] / [▶]	前のファイルを表示 / 次のファイルを表示します。
[削除]	表示しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	表示しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを表示したときは、ファイル名の先頭に マークが表示されます。(→ P.190)
[ズーム]	表示している静止画を拡大表示します。
[映像調整]	静止画の画質を調整します。 (→ P.85)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1つ前の画面に戻ります。

地図表示モードで再生する

再生中の録画ファイルの位置を地図で表示し、子画面で録画ファイルを再生します。静止画も撮影した位置を地図で表示し子画面に静止画を表示します。

- 1 ドライブレコーダーの録画ファイルを再生する
- 2 画面をタッチして操作ボタンを表示する



- 3 [地図表示] をタッチする



地図表示モードの再生に切り替わります。



■ 録画ファイルの再生画面に戻す

- 1 録画ファイル再生部分をタッチする



録画ファイルの再生画面に戻ります。

ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。



- 常時録画ファイルは保護できません。
- ファイルを保護または解除すると、フロントカメラとリアカメラのファイルを同時に保護または解除します。

1 保護したいファイルを再生して画面をタッチする

2 [保護] をタッチする



3 [はい] をタッチする



ファイル名の先頭に マークが表示されます。

■ ファイル保護を解除する

1 保護されたファイルを再生して画面をタッチする

2 [保護解除] をタッチする



3 [はい] をタッチする

ファイル名の先頭の マークが消えます。

ファイルを削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。



- 保護されたファイルを削除するときは、先に保護を解除してから削除を行ってください。
- ファイルを削除すると、フロントカメラとリアカメラのファイルを同時に削除します。

■ ファイルを削除する

1 削除したいファイルを再生して画面をタッチする

2 [削除] をタッチする



3 [はい] をタッチする



再生中のファイルが削除されます。

■ フォルダごと削除する

1 [MENU] を押して [ドライブレコーダー] をタッチする

2 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

3 【リスト】をタッチする



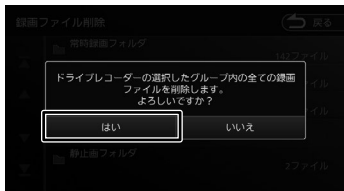
4 【削除】をタッチする



5 削除したいフォルダを選択する



6 【はい】をタッチする



選択したフォルダ内のファイルすべてを削除します。

ドライブレコーダーの設定をする (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)

ドライブレコーダーの設定を変更します。

- 1 【MENU】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする
- 2 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

3 【設定】をタッチする



4 各項目を設定する



- 設定中は、常時録画が停止します。また、イベント記録、手動録画、静止画記録もできません。ドライブレコーダーでの手動録画、静止画記録もできません。
- ナビゲーションの【MENU】、または【現在地/AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、設定操作ができません。

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	1280×720/ 1920×1080*	録画する解像度を設定します。 録画モード別に画質の設定はできません。
フレームレート	DRV-MN970 : 30fps*/10fps/3fps DRV-MN940B : 27fps*/9fps/3fps	フレームレートを設定します。 駐車録画は設定にかかわらず DRV-MN970 は 30fps、 DRV-MN940B は 27fps で録画されます。
記録方式	映像+音声*/映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	ドライブレコーダーから出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。0 (消音) /1 (小) /2 (標準) /3 (大)
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	イベント記録を開始する、車両の衝撃検出感度を設定します。 レベル 1 (大きな衝撃で検知します) ~レベル 3 (標準) ~レベル 5 (小さな衝撃で検知します)
常時録画の1ファイル毎の録画時間	DRV-MN970 : 1分間/2分間/3分間* DRV-MN940B : 1分間*/2分間/3分間	常時録画の録画時間を設定します。録画時間毎にファイルを区切って録画します。
手動録画の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	手動録画を開始してからの録画時間を設定します。
イベント記録の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	車両の衝撃検知後の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON*/OFF	駐車時（車両のエンジンキーを「オフ」時）に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
駐車録画開始時間設定 (降車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンを「オフ」にしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定 (乗車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンを「オン」にする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10秒間*/20秒間/ 30秒間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。

● システム

項目	説明
SDカード寿命表示	ドライブレコーダーに付属のSDカードまたは別売のケンウッド製SDカードを使用しているとSDカードの寿命(目安)を表示します。
バージョン情報	ドライブレコーダーのファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新	ドライブレコーダーのファームウェアを更新します。(→ P.193)
SDカード初期化	ドライブレコーダーのすべてのファイルを消去し、SDカードを初期化します。(→ P.193)
設定の初期化	ドライブレコーダーの設定を初期化します。

* : お買い上げ時の設定です。

SD カードをフォーマットする (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)

SD カードに関するエラーが発生する場合は、フォーマットをしてください。



- ドライブレコーダー以外では SD カードのフォーマットを行わないでください。
- SD カードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

- 1 **【MENU】** を押して **【ドライブレコーダー】** をタッチする
- 2 **画面** をタッチする

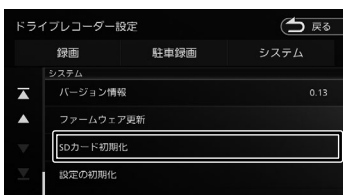


操作ボタンが表示されます。

- 3 **【設定】** をタッチする



- 4 **「システム」** の **【SD カード初期化】** をタッチする



- 5 **【はい】** をタッチする
SD カードを初期化します。

システムを更新する (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)

ドライブレコーダーのシステムファームウェアを更新します。更新に関する情報は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んでください。



- ドライブレコーダーのバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合、SD カードを挿入してもアップデートは行われません。

- 1 SD カードをドライブレコーダーから取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んで、アップデートファイルを SD カードにコピーする
- 3 SD カードをパソコンから取り出し、ドライブレコーダーに挿入する
- 4 **【MENU】** を押して **【ドライブレコーダー】** をタッチする



- 5 **画面** をタッチする

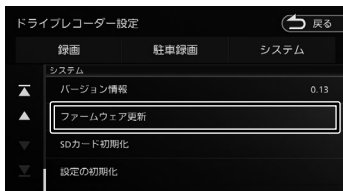


操作ボタンが表示されます。

6 「設定」をタッチする



7 「システム」の「ファームウェア更新」をタッチする



8 「はい」をタッチする

更新を開始します。

サブリアカメラ機能を使う

リアビューカメラの補助としてドライブレコーダーのリア映像を表示する（サブリアカメラ）ことができます。

表示するには事前に設定が必要です。

サブリアカメラの設定をする

- 1 【MENU】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 「その他」の【サブリアカメラ】をタッチして【ON】にする



サブリアカメラの映像を表示する

- 1 シフトレバーを“R”（リバース）にする
別売のリアビューカメラを接続しているときはリアビューカメラの映像を表示します。リアビューカメラを接続していないときは、ドライブレコーダーのリア映像を表示します。手順2と3の操作は不要です。
- 2 画面をタッチして操作ボタンを表示する
- 3 【リアレコ】をタッチする



サブリアカメラの映像に切り替わります。



- ・ 本機の電源を入れた直後など、サブリアカメラの映像を表示するのに時間がかかることがあります。

画面の見かたと操作



【上位置】 / 【下位置】：

警告文の表示位置を変更します。

【非表示】：

操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

【映像調整】：

サブリアカメラの画像を調整します。録画される映像には影響しません。(→ P.85)

【リアカメラ】：

リアビューカメラの映像を表示します。

【ズーム】：

中央が 1.6 倍に拡大した映像が表示されます。



- サブリアカメラの映像にガイド線機能はありません。
- 録画ファイルの再生中にサブリアカメラ映像を表示させた場合は、再生を停止します。

バーチャルルームミラー機能を使う

リアウィンドウが小さい車や、後部座席に荷物を積んでいるなど、ルームミラーでの後方確認ができない場合などに、現在地図画面から後方の映像を表示することができます。

表示するには、事前に設定が必要です。

バーチャルルームミラーの設定をする

お買い上げ時は [ON] に設定されています。

- 1 【MENU】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 「その他」の【バーチャルルームミラー】をタッチして【ON】にする

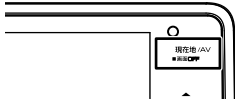


- バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダーは DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940B です。別売のリアカメラは CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-230W、またはマルチビューカメラ CMOS-C320 です。

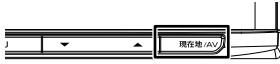
現在地図画面から表示する

1 【現在地 / AV】 を押す

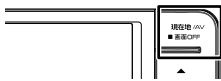
MDV-S809F



MDV-S809L



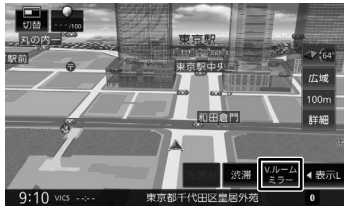
MDV-S709W



MDV-S709



2 【V. ルームミラー】 をタッチする



バーチャルルームミラーの映像が子画面で表示されます。



【V. ルームミラー】 をもう一度タッチすると子画面が消えます。

■ バーチャルルームミラーの表示サイズを変更する

バーチャルルームミラーの表示サイズを変えることができます。

1 バーチャルルームミラー表示内をフリックまたはドラッグする

- 中画面サイズから小画面サイズにする



- 小画面サイズから中画面サイズにする



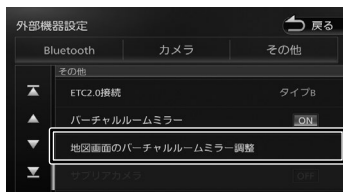
- 中画面サイズから全画面表示にする



■ バーチャルルームミラーエリアに表示する映像を調整する

[バーチャルルームミラー] (→ P.143) が [OFF] のときは設定できません。

- 1 【MENU】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【外部機器】 をタッチする
- 2 「その他」 の 【地図画面のバーチャルルームミラー調整】 をタッチする



- 3 表示位置または表示の大きさを調整する



【拡大】 / 【縮小】 :

【拡大】 をタッチするたびに画面中央を拡大 (x1.2/x1.4/x1.6) することができます。拡大した後に 【縮小】 をタッチするたびに等倍 (x1) まで縮小します。

【↑】 / 【↓】 :

現在地図画面に表示させる位置に枠をあわせると枠内の映像が表示されるようになります。

【切替】 :

別売のリアカメラと別売のドライブレコーダーの両方を接続していて、リアカメラの接続設定が [なし] 以外に設定されていると表示されます。タッチすると、表示倍率と枠の位置が記憶されます。

バーチャルルームミラー全画面表示の操作



映像を表示している機器
ドライブレコーダー / リアカメラ

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

【戻る】 :

現在地図画面に戻ります。

【非表示】 :

操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

【映像調整】 :

バーチャルルームミラー映像の画質を調整します。(→ P.85)
ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。

【拡大】 / 【縮小】 :

画面中央を拡大 (x1.2/x1.4/x1.6) することができます。拡大した後に縮小をタッチすると等倍 (x1) までタッチするたびに切り替わります。

【切替】 :

別売のリアカメラと別売のドライブレコーダーの両方を接続していて、リアカメラの接続設定が [なし] 以外に設定されていると表示されます。タッチすると映像を表示する機器 (リアカメラまたはドライブレコーダー) を切り替えることができます。

リアビューカメラを使う

カメラを設定する

本機は、リアビューカメラを接続することができます。リアビューカメラには下記の機種が接続できます。

ケンウッド専用マルチビューリアカメラ

CMOS-C320 (別売品)

ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ

CMOS-C230 (別売品)、CMOS-C230W (別売品)

スタンダードリアビューカメラ

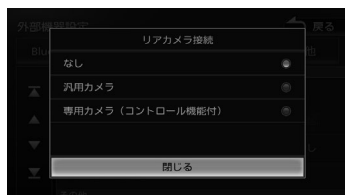
CMOS-230 (別売品)、CMOS-230W (別売品)

リアビューカメラ接続設定

- 1 【MENU】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 「カメラ」の【リアカメラ接続】をタッチする



- 3 【汎用カメラ】または【専用カメラ (コントロール機能付)】をタッチする



【なし】：
カメラを接続しません。

【汎用カメラ】：
CMOS-C230 (別売品)、CMOS-C230W (別売品)、CMOS-230 (別売品)、CMOS-230W (別売品)、または市販のカメラを接続しているときに選択します。

【専用カメラ (コントロール機能付)】：
CMOS-C320 (別売品) を接続しているときに選択します。

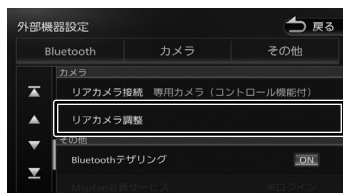
CMOS-C320 のカメラ設定をする

CMOS-C320 (別売品) を接続したときは、本機の画面上で CMOS-C320 のカメラ設定ができます。



- ・ CMOS-C320 のカメラ設定を行うには、本機に CMOS-C320 (別売品) を接続し、カメラの接続設定を「専用カメラ」に設定する必要があります。(→ P.198)

- 1 「カメラ」の【リアカメラ調整】をタッチする



CMOS-C320 (別売品) の設定画面が表示されます。

設定方法については、CMOS-C320 の取扱説明書をご覧ください。

リアビューカメラの映像を表示する

本機に接続したリアビューカメラの映像を表示します。

カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度 (徐行) でご使用ください。

- ・ リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・ 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

- 1 シフトレバーを“R” (リバース) にする

リアビューカメラの映像が表示されます。





- シフトレバーを“R”（リバース）にしてもリアビューカメラの映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。

リアビューカメラ操作ボタンを使う

リアビューカメラ映像をタッチすると、リアビューカメラ操作ボタンが表示されます。



【ビュー】：

リアビューカメラの視点を切り替えます。
(CMOS-C320 接続時のみ)

【ガイド線】：

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。
もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

【上位置】 / 【下位置】：

警告文の位置表示を変更します。

【非表示】：

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

【映像調整】：

リアビューカメラ映像の画質を調整します。
(→ P.85)



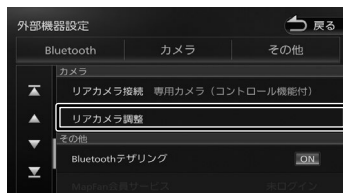
- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上切り替えてください。
- 警告文は位置を切り替えることはできませんが、消すことはできません。

リアビューカメラのガイド線を調整する

リアビューカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。ガイド線の調整方法は、接続しているカメラによって異なります。

CMOS-C320 を接続している場合

- 【MENU】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 「カメラ」の【リアカメラ調整】をタッチする



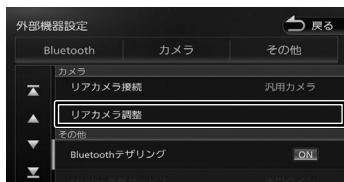
CMOS-C320（別売品）の設定画面が表示されます。

設定方法については、CMOS-C320の取扱説明書をご覧ください。

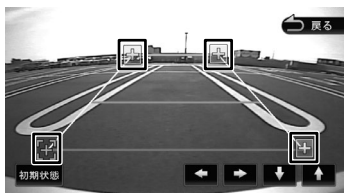
汎用カメラを接続している場合

汎用カメラとは、別売品の CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230、CMOS-230W、または市販品のリアカメラです。

- 1 [MENU] を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする
- 2 「カメラ」の [リアカメラ調整] をタッチする

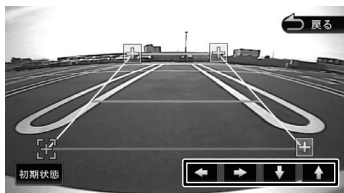


- 3 調整するカーソル (+) をタッチする



市販品を接続している場合にカメラの映像が表示されないときは、パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを“R”（リバース）に入れてください。

- 4 ← / → / ↓ / ↑ をタッチして、ガイド線の位置を調整します。



【初期状態】：

ガイド線の位置を初期状態に戻します。

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機は ETC 車載器（別売品）または ETC2.0 車載器（別売品）を接続することができます。本機に対応している ETC 車載器または ETC2.0 車載器は、174 ページをご覧ください。

- ETC 車載器の接続設定はありません。
- ETC2.0 車載器は、接続した機器の設定を行ってください。（→ P.202）



- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーと ETC 車載器は同時に接続できません。（ETC2.0 車載器は除く）
- ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC 車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面（→ P.144）で確認してください。

ETC 情報について

ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。



- ETC 機能についての音声案内（料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード）は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 か月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0 情報について

ETC2.0 車載器（別売品）を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。



- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。また決済サービスにも対応していません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省 国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用および取り扱いについて）

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC / 一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中の ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。

走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。

アップリンクしないように設定することができます。（→ P.127）アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。（→ P.123）
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。対応している情報の種類は、次のとおりです。
 - 優先情報
 - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
 - 一般情報
 - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。（→ P.74）
- 渋滞のある箇所近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（→ P.74）

ETC に関する設定をする

ETC の案内音声出力を設定する

- 1 【MENU】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【ナビ】 をタッチする
- 2 「案内」 の 【ETC 音声の出力】 をタッチする



【ON】：
ETC の音声案内をします。

【OFF】：
ETC の音声案内をしません。

ETC の料金表示を設定する

- 1 【MENU】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【ナビ】 をタッチする
- 2 「案内」 の 【ETC 料金の表示】 をタッチする



【ON】：
ETC 料金を表示します。

【OFF】：
ETC 料金を表示しません。

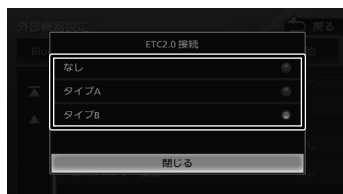
ETC2.0 車載器の接続設定をする

接続している ETC2.0 車載器を設定します。
お買い上げ時は、【タイプ B】 に設定されています。

- 1 【MENU】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【外部機器】 をタッチする
- 2 「その他」 の 【ETC2.0 接続】 をタッチする



- 3 接続する ETC2.0 車載器をタッチする



【なし】：
ETC2.0 車載器を接続しません。

【タイプ A】：

- ・パナソニック株式会社製
ETC2.0 車載器：CY-ET2000D (市販品)
接続ケーブル：KNA-P12DSRC (別売品)
- ・パナソニック株式会社製
ETC2.0 車載器：CY-DSR140D (市販品)
接続ケーブル：KNA-P15DSRC (別売品)

【タイプ B】：

- ・ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器
ETC-N7000 (別売品)
- ・ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器
ETC-N3000 (別売品)
- ・株式会社デンソー製
ETC2.0 車載器：DIU-B040 (市販品)
接続ケーブル：KNA-D15DSRC (別売品)

- 4 本機の電源をオフにしてオンにする

▼
ETC2.0 車載器が本機に設定されます。

ETC2.0 に関する設定をする

ETC2.0 に関する設定は 127 ページの「VICS 情報の表示設定をする」をご覧ください。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【MENU】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【ETC】 をタッチする



ETC履歴情報 車載器情報 戻る

2018/11/17 07:50	¥2,070	本庄児玉→あきる野
2018/11/14 20:52	¥2,070	あきる野→本庄児玉
2018/11/10 07:42	¥2,070	本庄児玉→あきる野
2018/11/07 22:08	¥2,070	あきる野→本庄児玉
2018/11/05 07:38	¥2,070	本庄児玉→あきる野
2018/11/04 21:35	¥2,070	あきる野→本庄児玉

【車載器情報】：

車載器の情報を表示します。

車載器情報 戻る

車載器管理番号	00000-00000000000000
型式登録番号	0000
型式名	
統一エラーコード	0
カード有効期限	2019/09/30



- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内

本機に別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を受信することができます。

本機は、受信した情報によって、以下の 3 つの信号情報案内に対応しています。

- 信号通過支援案内
- 赤信号減速支援案内
- 発進遅れ防止支援案内



- 本機の信号情報案内は、あくまで補助的な機能です。
 - あらゆる状況において作動するものではありません。
 - 実際の信号機の点灯状況と異なる場合は、信号機の表示にしたがってください。
- 車両を運転する際は、信号情報案内を過信せず、常に道路標識、前方の信号表示、周囲の道路状況に注意し、交通ルールに基づいて安全な運転を心がけてください。

信号情報案内利用上のご注意

- 光ビーコンは主に一般道に設置されていますが、すべての光ビーコンで信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を提供していません。詳しくは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページをご覧ください。 <http://www.vics.or.jp/>
 - 情報を提供している道路であっても、工事や情報配信元の事情により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。
 - 押しボタン式信号、感応式信号など、情報提供区間であっても、情報が提供されない交差点があります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報は、光ビーコンを通過した時点でのものです。このため、その後の状況の変化により、信号情報案内と実際の信号機の点灯内容が異なる場合があります。
 - 案内する交差点の手前に押しボタン式信号、感応式信号がある場合、表示するタイミングがずれることがあります。
 - 渋滞など、道路の通行状況が変化した場合、表示するタイミングがずれることがあります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

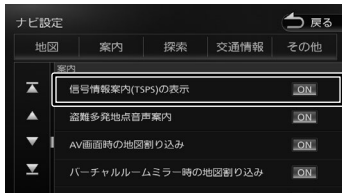
オプション

付録

- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報には有効期限があります。このため情報を受信してから一定時間が経過すると、有効期限を過ぎてしまい、次に情報を受信するまで信号情報案内ができなくなります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の概念や整備計画については、VICS センターにお問い合わせください。
- 本機から光ビーコンへ、走行軌跡の情報がアップリンクされます。この情報は、交通状況を把握するためのもので、個人の情報を特定するものではありません。信号情報案内の表示を OFF に設定するとアップリンクされなくなります。
- 以下の場合には光ビーコンからの信号の受信が困難になることがあります。
 - 通信エリア外
 - 雨や雪の影響がある
 - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
 - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
 - アンテナ受光面が汚れている
 - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

信号情報案内の設定をする

- 1 **[MENU]** を押して **[情報・設定]** をタッチして **[ナビ]** をタッチする
- 2 「案内」の **[信号情報案内 (TSPS) の表示]** をタッチする



- [ON]** :
信号情報案内を行います。
- [OFF]** :
信号情報案内を行いません。

地図に表示される信号情報案内

本機は、前方の交差点を直進方向に進行すると想定して、信号情報案内を行います。



- ルート案内中で、右左折を案内する交差点については信号情報案内を行いません。
- 矢印信号については、信号機の点灯状況と異なる案内をする、または案内が動作しない場合があります。
- 信号情報案内が可能になったときに、対象となる交差点までの距離が近い場合は、案内を行わない場合があります。

交差点を通過すると、信号情報案内を終了します。引き続き信号情報案内が可能な交差点がある場合は、案内を続けます。

■ 支援状態の表示

信号情報活用運転支援システムの情報を光ビーコンから受信すると、画面に「支援エリア」と表示されます。



信号情報案内可能な交差点に近づくと、表示が「支援中」に切り替わります。



信号情報案内する情報が無くなった場合は、「支援中」または「支援エリア」の表示が消えます。

■ 信号通過支援 / 赤信号減速支援

現在の速度のまま交差点に近づいたときの前方の交差点の信号状態を予測して表示します。

青信号になるとき :

信号通過支援案内を表示します。



赤信号になるとき：

赤信号減速支援案内を表示し、「この先、赤信号です」と音声案内します。

交差点に接近する、または減速すると、表示が消えます。



- 表示を開始するのは、交差点のおよそ200m手前ですが、その間に信号があるときは表示されないことがあります。
- 高速走行時、低速走行時は案内を行わない場合があります。

■ 発進遅れ防止支援

交差点を赤信号で停車したとき、おおよその信号待ち時間を表示します。



信号待ち時間が5秒以下になると、表示が切り替わり「まもなく青信号です」と音声案内します。交差点が青信号になると、表示が消えます。



- 交差点から一定距離以上離れている場合は、発進遅れ防止支援の案内を行いません。
- 一度交差点の前で停車しないと、発進遅れ防止支援の案内を行いません。

リアモニターを使う

本機にリアモニター（市販品）を接続すると、本機の映像をリアモニターに表示することができます。



- リアモニターは走行中でも表示されます。リアモニターは運転者から見えないうちに設置してください。

リアモニターに表示できる映像について

ソース

DISC：DVD-Video/DVD-VR

USB：ビデオファイル

SD：ビデオファイル

マルチ AV ブラウザ：ビデオファイル


地デジ



- リアモニターの接続には、AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV（別売品）が必要です。
- 本機で再生できるビデオファイルについては223ページをご覧ください。

KNA-200WT の電源接続 (MDV-S809L/MDV-S709W のみ)


- MDV-S809L にトヨタ車用 / ダイハツ車用ワイヤリングキット KNA-200WT (別売品) と取付キット KIT8-18T (別売品) を使用する場合の接続です。
- MDV-S709W にトヨタ車用 / ダイハツ車用ワイヤリングキット KNA-200WT (別売品) を使用する場合の接続です。



実施

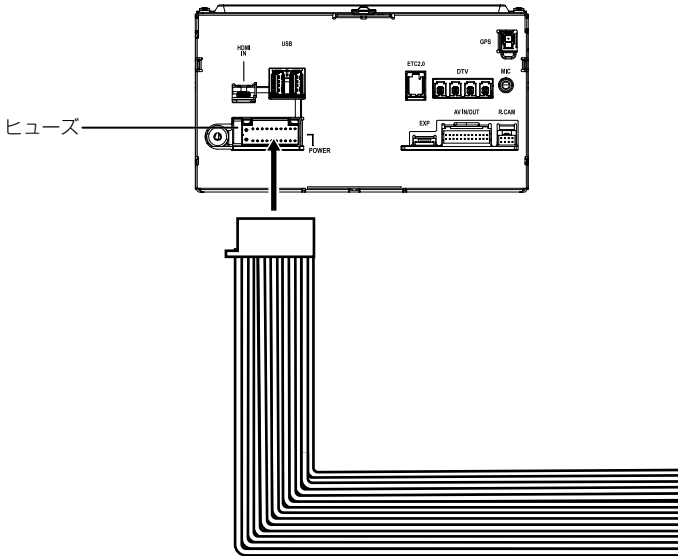
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

- 電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いがないか確認してから本機に接続してください。

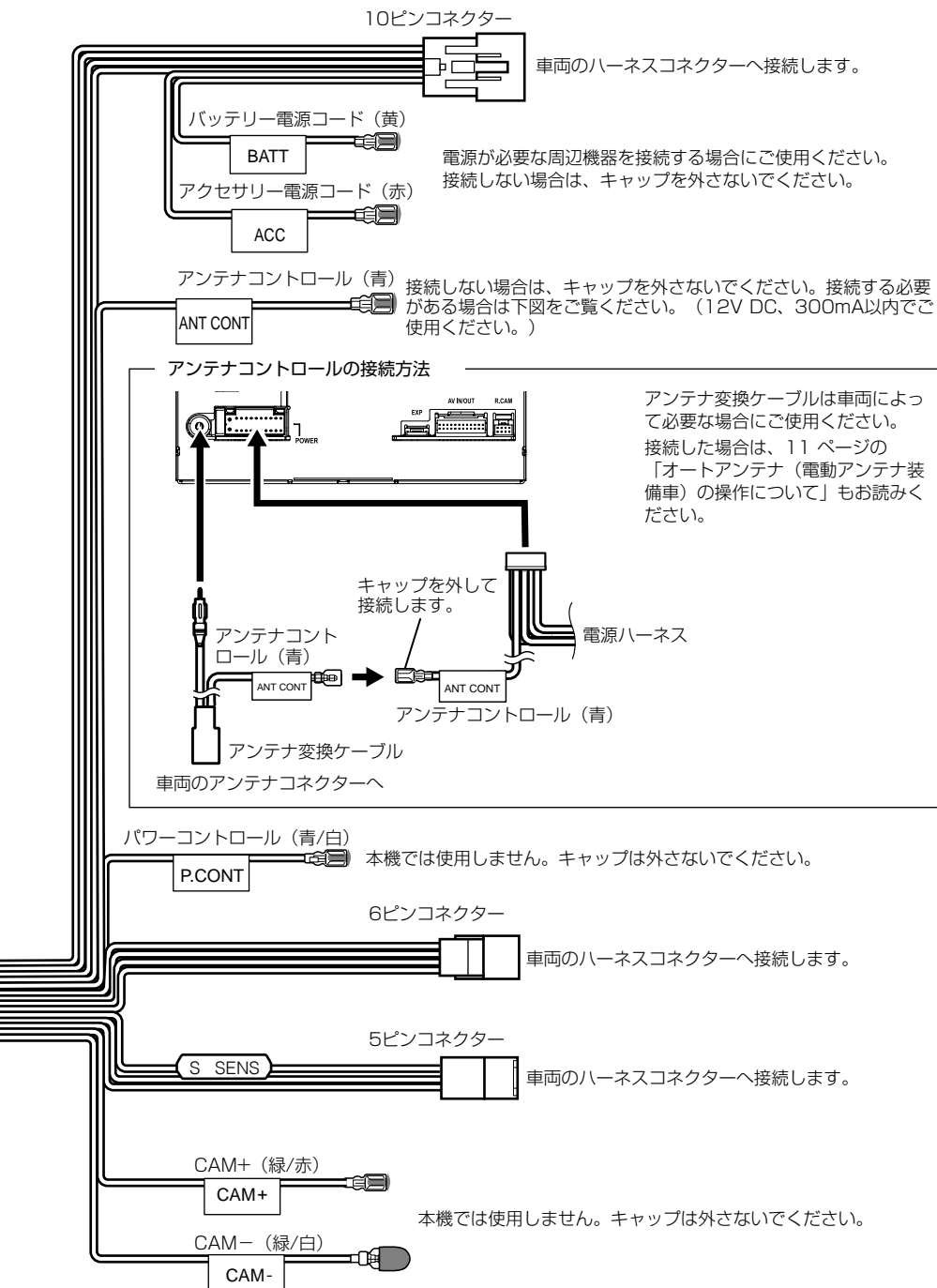


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。
規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 車速検出コードの「S SENS」と書かれたホルダー (保護ダイオード入り) は切り外さないでください。車両故障の原因となります。
- KNA-200WT (別売品) については当社ホームページをご覧ください。
<https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wt/>



KNA-200WNの電源接続(MDV-S709Wのみ)

日産車用ワイヤリングキット KNA-200WN (別売品) を使用する場合の接続です。



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。



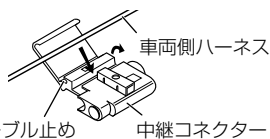
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いがないか確認してから本機に接続してください。

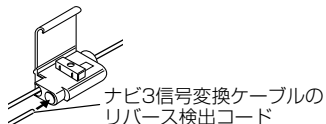
■ 中継コネクターの使いかた

1. 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。

2. ケーブル止めをロックします。

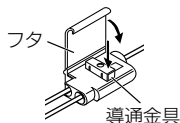


3. ナビ3信号変換ケーブルのリバース検出コードを中継コネクターに差し込みます。



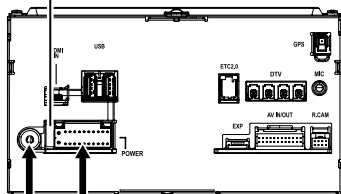
4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。

5. 最後にフタをロックします。



●中継コネクターはナビ3信号変換ケーブルのリバース検出コード以外には使用しないでください。接触不良による誤動作の原因となります。

ヒューズ



- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 車速検出コードの「S SENS」と書かれたホルダー (保護ダイオード入り) は切り外さないでください。車両故障の原因となります。
- KNA-200WN (別売品) については当社ホームページをご覧ください。
<https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wn/>

